



臨床検査技師の役割

病院では、病気の診断や治療をする上で必要となる、患者さんの体の情報を得るために、さまざまな検査を行います。代表的な検査の一つに「臨床検査」があり、この検査を正確・迅速に行うのが臨床検査技師です。

臨床検査は、採取した血液や尿、便、組織などを調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者さんを直接調べる「生理機能検査」の二つに大きく分けられます。

検体検査では、血液や尿などを調べることで病気の診断や治療の経過観察を行う生化学・免疫検査や、白血病などの血液疾患を診断する時に欠かせない血液検査、腎障害などの診断に役立つ尿の一般検査などを行います。また、インフルエンザウイルスや病気の原因となっている細菌などを検出・特定し、それらに対しどのような薬が有効かを調べたり、病理医の下、手術で摘出された臓器・組織の診断や、痰や尿からがん細胞などを見つけ出したりしています。生理機能検査は、心臓の病気を

検査部技師長

可知 満恵

の診断に役立つ心電図検査や心臓超音波検査、意識障害や脳波検査、肺の病気の診断や重症度の確認のための肺機能検査などがあります。最近では睡眠時無呼吸症候群を診断するための終夜睡眠ポリグラフ検査も導入しています。生理機能検査は検体検査とは異なり、患者さんと対面し患者さんの様子を見ながらできる貴重な検査です。

現在の医療はチーム医療を基本としており、医師を中心に各専門医療職が一丸となって、患者さんの診断・治療に当たっています。その中で臨床検査技師は、医師の指示の下、検体や患者さんの体から正確な検査情報を取得し、的確な分析・評価を行うことにより、診断・治療の一翼を担っています。

病院内で患者さんとお会いする機会が少ないですが、検査デスクなどのご説明もさせていただきますので、お気軽に中央検査室をお訪ねください。

市長の部屋から



8月4日(火)



皆さん、東海大会出場おめでとうございます。選手の皆さんがここまで来られたのも、ご家族や周りの方々の支えがあってこそだと思います。ご両親はじめ、関係者の皆さまも本当におめでとうございます。

今日お集まりの皆さんは、まだ中学生で、無限の可能性を秘めています。5年後の東京オリンピックの頃には20歳ぐらいでしょう。これからどんどん自分自身を磨いていただき、素晴らしい成績を挙げていていただきたいと思います。

皆さん、頑張ってください。

土岐市長 加藤靖也

中学校総合体育大会東海大会出場者激励会に出席し、選手22人の方々にエールを送りました。

出場選手から、周りで支えてきてくれた人への感謝や、それに報いるため当日はベストを尽くすという決意を聞くことができました。

